

2020年2月期第1四半期の 営業状況について

このプレゼンテーション資料には将来の見通しが含まれていません。これらの見通しや意見は、社内資料やその他の信頼するに足りると思われる資料をもとに作成していますが、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の売上高や利益等は、ここに記載されている内容と異なる場合があることをご承知おきください。

久光製薬株式会社

2019年7月10日

貼付剤による治療文化を世界へ

1

要 旨

1. 2020年2月期第1四半期の振り返り
2. 連結損益
3. 地域別売上高
4. 商品別売上高
5. 国内医療用第2世代貼付剤の動向
6. 研究開発パイプライン
7. 自己株式の取得及び自己株式の消却

貼付剤による治療文化を世界へ

2

1. 2020年2月期第1四半期の振り返り(1)

医療用医薬品	<ul style="list-style-type: none"> ・HP-3150(経皮吸収型 非ステロイド性疼痛治療剤)のがん疼痛に対する国内第Ⅲ相比較臨床試験の終了 ・HP-5070(経皮吸収型 原発性局所多汗症治療剤)の国内第Ⅱ相臨床試験の終了
一般用医薬品	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェイタス®シップ」「フェイタス®シップ温感」新包装発売 ・「こどもロビンアイ®プラス」新発売
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・2018-19 V.LEAGUE DIVISION1女子 優勝(2年連続7度目) ・「エアール®サロンパス®アイシングスプレー」490mL(雑貨品)新発売

※6月3日:経皮吸収卵胞・黄体ホルモン製剤「メノエイド®コンビパッチ」
製造販売承認の承継および販売移管



貼付剤による治療文化を世界へ

3

1. 2020年2月期第1四半期の振り返り(2)

- ・「サロンパス®」世界No.1ブランドに3年連続の認定
- ・「久光製薬」が販売シェア世界No.1企業に2年連続の認定



※ユーロモニター社が実施している外用鎮痛消炎剤の世界市場調査に基づく

※久光製薬は東京2020オフィシャルパートナー(外用消炎鎮痛剤)です。

貼付剤による治療文化を世界へ

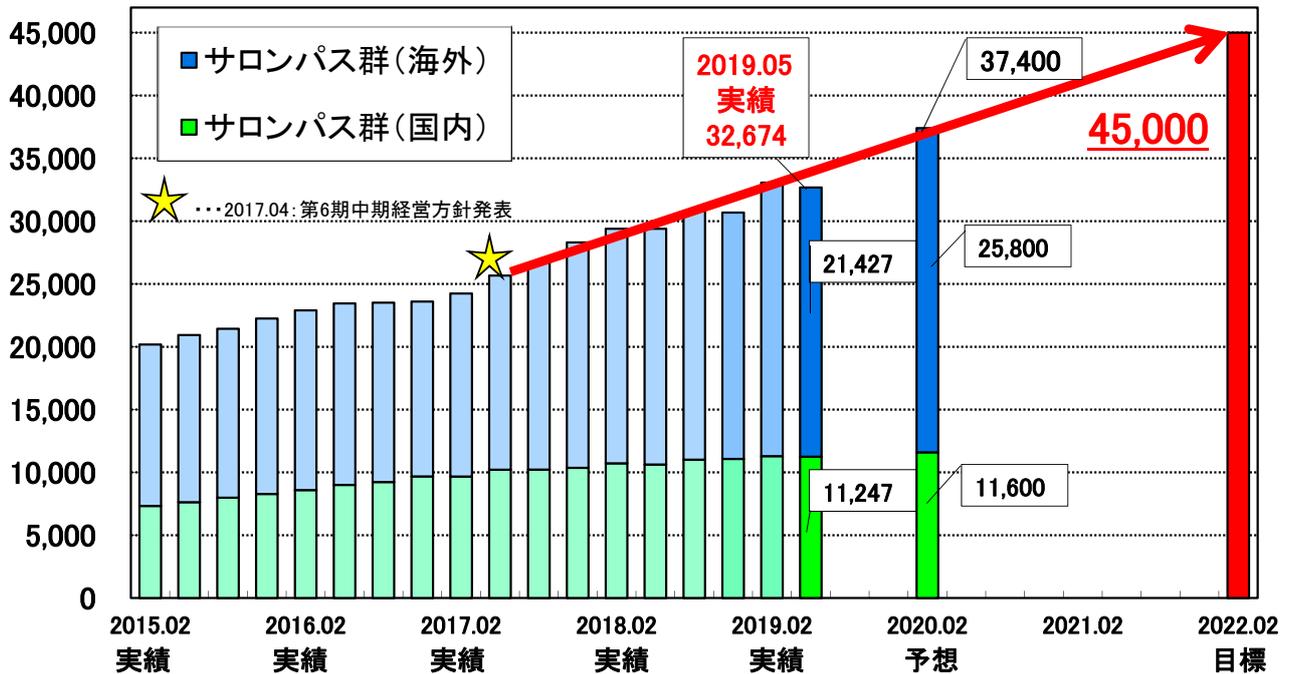
4

1. 2020年2月期第1四半期の振り返り(3)

<サロンパス群売上推移>

目標:2022年2月期に年間450億円

(移動年計:百万円)



貼付剤による治療文化を世界へ

5

1. 2020年2月期第1四半期の振り返り(4)

<OTC医薬品の販売の流れ>



貼付剤による治療文化を世界へ

6

2. 連結損益(1) - 対前期実績 -

単位:百万円

	2019年2月期 第1四半期実績	2020年2月期 第1四半期実績	増減額	増減率
売上高	33,507	29,233	-4,274	-12.8%
売上原価	13,600	10,901	-2,699	-19.8%
原価率	40.6%	37.3%		
販管費	15,543	15,552	+8	+0.1%
販売促進費	3,019	2,987	-32	-1.1%
広告費	2,857	3,309	+452	+15.8%
研究費	3,012	2,978	-33	-1.1%
その他	6,653	6,276	-377	-5.7%
営業利益	4,362	2,778	-1,584	-36.3%
経常利益	4,449	2,863	-1,585	-35.6%
親会社株主に帰属 する純利益	3,452	1,913	-1,538	-44.6%

貼付剤による治療文化を世界へ

7

2. 連結損益(2) - 主な差異理由 -

単位:百万円

	2019年2月期 第1四半期実績	2020年2月期 第1四半期実績	増減額	主な差異理由
売上高	33,507	29,233	-4,274	
売上原価	13,600	10,901	-2,699	・売上構成の変化
原価率	40.6%	37.3%		
販管費	15,543	15,552	+8	
販売促進費	3,019	2,987	-32	・日本では売上減少に伴い減少 ・海外では積極的な販促活動を実施
広告費	2,857	3,309	+452	・日本、海外共に積極的な広告を展開
研究費	3,012	2,978	-33	
その他	6,653	6,276	-377	・のれん償却費用の減少
営業利益	4,362	2,778	-1,584	
営業外収支	86	85	-1	
経常利益	4,449	2,863	-1,585	
特別収支	-0	-1	-0	
親会社株主に帰属 する純利益	3,452	1,913	-1,538	

貼付剤による治療文化を世界へ

8

3. 地域別売上高

単位: 百万円

		2019年2月期 第1四半期実績	2020年2月期 第1四半期実績	増減額	増減率
売上高		33,507	29,233	-4,274	-12.8%
医療用医薬品	日本	15,726	13,792	-1,934	-12.3%
	米国	3,624	3,177	-446	-12.3%
	その他地域	511	759	+248	+48.6%
一般用医薬品 ・ その他	日本	8,077	6,574	-1,503	-18.6%
	米国	2,181	2,897	+716	+32.8%
	その他地域	2,531	1,371	-1,160	-45.8%
その他事業	日本	856	661	-194	-22.8%

貼付剤による治療文化を世界へ

9

4. 商品別売上高(1) - 医療用医薬品/対前期実績 -

単位: 百万円

	2020年2月期 第1四半期実績			2020年2月期第1四半期の 対前年増減額			2020年2月期第1四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
医療用医薬品計	17,729	13,792	3,936	-2,132	-1,934	-198	-10.7%	-12.3%	-4.8%
フェントス [®] テープ	1,090	1,090	-	-243	-243	-	-18.2%	-18.2%	-
ネオキシ [®] テープ	159	159	-	-22	-22	-	-12.5%	-12.5%	-
アブストラ [®] 舌下錠	53	53	-	+2	+2	-	+4.9%	+4.9%	-
アレサガ [®] テープ	75	75	-	-23	-23	-	-23.8%	-23.8%	-
モーラス [®] テープ群	8,950	8,950	-	-1,023	-1,023	-	-10.3%	-10.3%	-
モーラス [®] パップ群	1,509	1,509	-	-236	-236	-	-13.5%	-13.5%	-
内、モーラス [®] パップXR群	1,095	1,095	-	-147	-147	-	-11.9%	-11.9%	-
その他	2,087	1,804	282	-374	-537	+162	-15.2%	-22.9%	+136.0%
Minivelle [®]	818	-	818	-614	-	-614	-42.9%	-	-42.9%
Vivelle-Dot [®] 群	1,324	-	1,324	+440	-	+440	+49.8%	-	+49.8%
CombiPatch [®] 群	1,003	149	854	-78	+149	-227	-7.3%	-	-21.1%
Daytrana [®]	661	-	661	+46	-	+46	+7.5%	-	+7.5%
Noven その他	-4	-	-4	-4	-	-4	-	-	-

貼付剤による治療文化を世界へ

10

4. 商品別売上高(2) - 一般用医薬品・その他/対前期実績 -

単位:百万円

	2020年2月期 第1四半期実績			2020年2月期第1四半期の 対前年増減額			2020年2月期第1四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
一般用医薬品・その他 計	10,842	6,574	4,268	-1,947	-1,503	-444	-15.2%	-18.6%	-9.4%
サロンパス®群	6,636	2,840	3,796	-387	-42	-345	-5.5%	-1.5%	-8.3%
サロンシップ®群	575	444	131	-246	-170	-76	-30.0%	-27.7%	-36.7%
エアー®サロンパス®群	370	268	101	-51	-33	-17	-12.3%	-11.2%	-14.9%
フェイタス®群	1,384	1,384	-	-43	-43	-	-3.0%	-3.0%	-
ブテナロック®群	818	818	-	-130	-130	-	-13.7%	-13.7%	-
アレグラ®FX	413	413	-	-979	-979	-	-70.3%	-70.3%	-
その他	644	404	239	-108	-103	-5	-14.4%	-20.4%	-2.1%

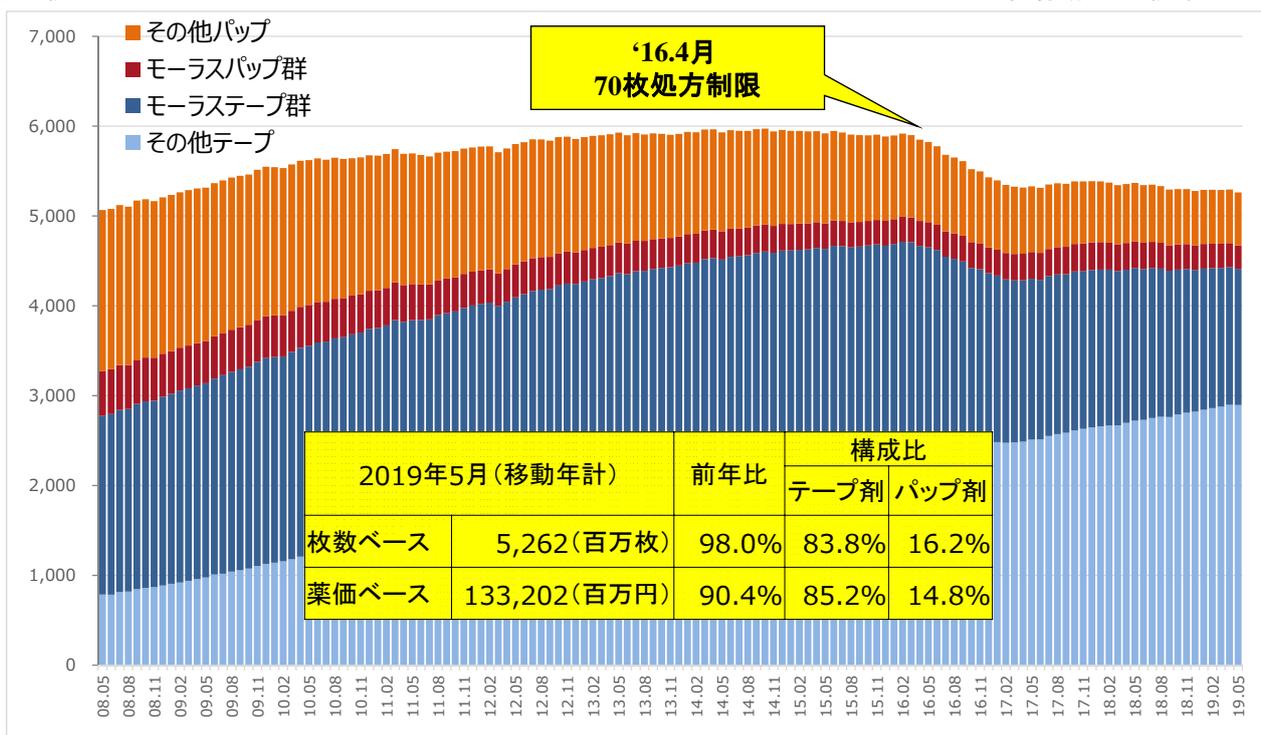
貼付剤による治療文化を世界へ

11

5. 国内医療用第2世代貼付剤の動向

(百万枚)

市場動向/枚数ベース



Copyright © 2019 IQVIA./JPMデータ期間~2019年5月をもとに作成/無断転載禁止

貼付剤による治療文化を世界へ

12

6. 研究開発パイプライン(1)

	ステージ	テーマ名	対象	剤形	対象疾患名	次のステップ
1	申請中	HP-1010 (後発品)	米	貼付剤	帯状疱疹後の神経疼痛	非開示
2	申請中	HP-3000	日	貼付剤	パーキンソン病	2019年度承認予定
3	申請中	HP-3070	米	貼付剤	統合失調症	2019年度承認予定
4	申請準備中	HFT-290 (オピオイド鎮痛剤未使用患者)	日	貼付剤	がん疼痛	2019年度申請予定
5	申請準備中	HP-3150	日	貼付剤	がん疼痛	2019年度申請予定
6	フェーズ3*	ATS	米	貼付剤	注意欠如・多動症 (ADHD)	2020年度申請予定
7	フェーズ3準備中	HP-3150	日	貼付剤	腰痛症	2019年度フェーズ3開始予定
8	フェーズ3準備中	HP-5070	日	経皮剤	原発性局所多汗症	2020年度フェーズ3開始予定
9	フェーズ3準備中	HP-3000	日	貼付剤	特発性レストレスレッグス症候群	検討中
10	フェーズ2	HP-5000	米	貼付剤	変形性膝関節症	2020年度フェーズ3開始予定

* 大規模な有効性・安全性試験ではなく、使用性試験(ユーザビリティ試験)を含む4試験を実施

※黄色箇所：2019年4月10日の説明スライドからの変更箇所。

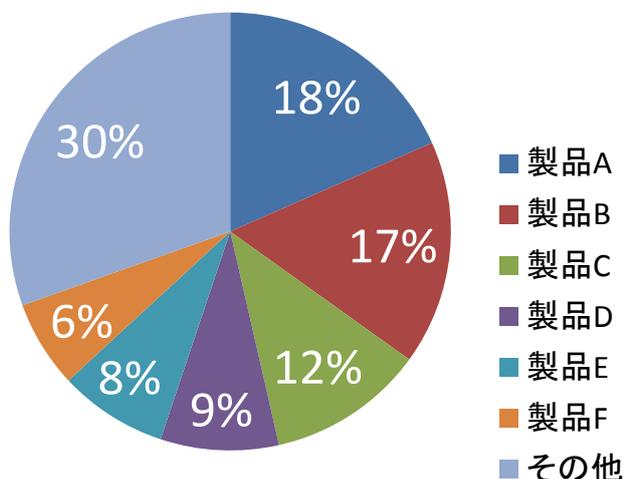
貼付剤による治療文化を世界へ

13

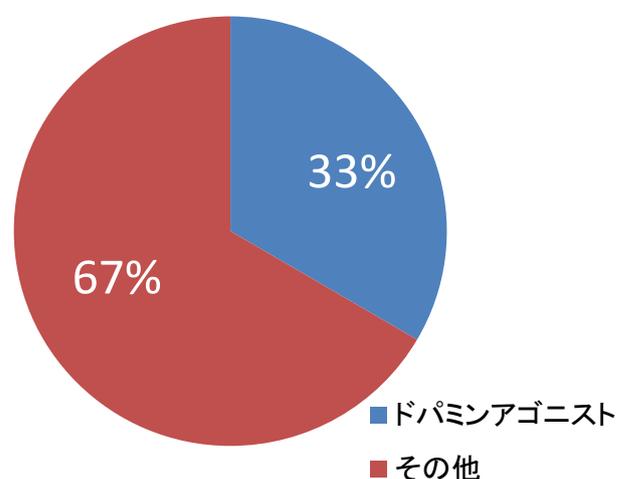
6. 研究開発パイプライン(2)

【HP-3000 (経皮吸収型パーキンソン病治療剤)について】
 パーキンソン病治療剤市場
 市場規模: 約930億円(2019年5月移動年計)

＜ブランド別市場＞



＜薬効別市場＞



Copyright © 2019 IQVIA. JPMデータ期間2019年5月MATをもとに自社集計/無断転載禁止

貼付剤による治療文化を世界へ

14

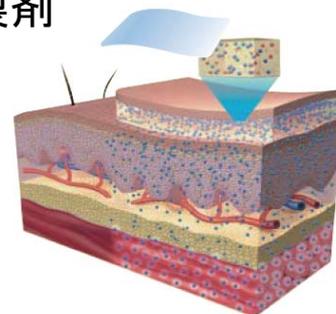
6. 研究開発パイプライン(3)

【HP-3150(経皮吸収型 非ステロイド性疼痛治療剤)について】

…2019年5月に、がん疼痛に対する国内第Ⅲ相比較臨床試験が終了

＜本剤の特長＞

- ・ がん疼痛に対する有効性が検証された世界初のNSAIDs貼付剤
 - * がん疼痛の適応を有する主な非オピオイド製剤
 - NSAIDs注射剤、アスピリン経口薬
- ・ 注射剤のような穿刺時の痛みがない
- ・ 経口摂取困難な患者様への投与が可能



Trans DermaSal® Technology

…経皮投与製剤として開発しにくい

水溶性の薬物を投与可能とする技術

貼付剤による治療文化を世界へ

15

7. 自己株式の取得及び自己株式の消却

資本効率の向上及び株主への利益還元を推進するために、「自己株式の取得」と「自己株式の消却」を決定しました。

1. 自己株式の取得

- (1) 取得する株式の総数: 100万株(上限)
- (2) 株式の取得価額の総額: 60億円(上限)
- (3) 取得期間: 2019年7月11日～2019年10月31日

2. 自己株式の消却

- (1) 消却する株式の総数: 1,000万株
- (2) 消却予定日: 2019年11月29日
- (3) 消却後の発行済株式総数: 85,164,895株

(参考)2019年2月28日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く): 82,664,225株

自己株式数: 12,500,670株

貼付剤による治療文化を世界へ

16

貼るを、未来へ。



Hisamitsu[®]



東京2020オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）



筋肉痛・筋内疲労などに
第3類医薬品



肩こり・腰痛・筋肉痛に
第3類医薬品



肩こりに伴う肩の痛み、腰痛などに
第2類医薬品



筋肉痛・筋内疲労などに
第3類医薬品